

広島市立安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	大腸憩室出血における重症化因子の検討
研究責任者 (所属科名)	永田信二 (消化器内科)
本研究の目的・意義	大腸憩室出血は治療介入が難しく、自然経過では1回のエピソードで再出血を繰り返す。再出血のリスクには NSAIDs が言われているが、全出血量や出血様式についての検討はない。このたび我々はヘモグロビン低下値や輸血有無により出血の重症度を評価し、それに寄与する背景因子について検討する。
調査方法・研究期間	後ろ向き観察研究 データ収集期間：2007年8月～2018年1月 研究期間：2018年11月までを予定。
該当資料・データ	★対象となる患者様 2007年8月～2018年1月までに安佐市民病院消化器内科にて大腸憩室出血と診断された患者様。 ★利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
共同研究機関	なし
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：082-257-5211 担当者：青山 大輝 (副部長)
備考	